

就任のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 藤澤 孝

第71回通常総会でご承認頂き、多田弘之会長の後任として会長に就任いたしました藤澤孝でございます。今回は緊急事態宣言の影響により、通常総会の場で皆様と挨拶ができないため書面での挨拶となりますがご容赦願います。一般社団法人日本エレベーター協会の会長という重責ではございますが、微力ながら「昇降機事業の健全な発展」及び「利用者の方々の安全確保」に向けて社会的使命を果たしていく所存です。何卒よろしくお願いいたします。

さて、国内の建設市場におきまして2019年度はオリンピック特需、首都圏大口再開発物件の竣工に伴う建設ラッシュにより据付作業員不足に陥り会員各社とも多忙を極めた1年だったと思います。そのような中で新型コロナウイルスの影響により、東京2020オリンピック競技大会は延期となり、4月に全国で緊急事態宣言が発出されSTAY HOMEが呼びかけられ、人の移動が過去経験のない規模で制限されました。世間が在宅勤務中心の働き方へ変貌していく中、昇降機の据付、保守に従事されている会員の皆様は、厳しい環境の現場に出向き作業いただいています。現場に従事されている皆様に改めて感謝を申し上げると共に、新型コロナウイルスに罹患されました方々に心からお見舞い申し上げます。

エレベーターはビルの高層化、バリアフリー化の進展によりなくてはならない設備、エスカレーターはビル内の階間移動には欠かせない設備として普及し、約90万台の昇降機が現在日本国内で稼働しています。生活の中の不可欠なライフラインとして益々重要性を増す一方で、新型コロナウイルスの終息が見通せない中、日常生活が「新しい生活様式」を目指すのと同様に、協会として昇降機の「ニューノーマル（新常態）」を模索してまいります。

当協会は、従来通り法令改定への対応及び周知に積極的に取組むと共に、JEAS及びJEABの制定を推進いたします。11月10日「エレベーターの日」の活動を中心に、エレベーター、エスカレーターの利用者の安全な利用を推進してまいります。エスカレーターに安心して立ち止まって乗っていただけるよう鉄道事業者様とキャンペーンを共催し、安全に昇降機を利用してもらう風土づくりを推進いたします。

また、昇降機据付、保守における労働災害が減少に転じておりません。会員各社との連携をより一層強化して、『重篤災害ゼロ』に向けた労働災害発生防止の取組みを展開してまいります。会員各社が昇降機技能者の確保に苦勞されている中、昇降機技能者の地位向上につながる活動として建設キャリアアップシステムへの取組みを進めてまいります。

更に、一般及び会員の方々に活用頂くべく当協会の様々なコンテンツを更に充実させ、より皆様のお役に立つ協会を目指してまいります。

最後に、会員各社をはじめ、監督官庁、関係諸団体の皆様と連携しながら各種課題に取り組む、昇降機業界の継続的な発展に繋げてまいります。

今後とも、皆様のご指導ご支援を頂きますようよろしくお願い申し上げます。